

今年も夏祭りを開催します。

例年通り8月14日に平佐東小学校校庭にて開催することが決まりました。詳しくは来月のコミ便り7月号にてお知らせします。皆様方のご協力をお願いします。



平佐東小校門の移転

平佐東小の校門が長い年月による劣化で亀裂等が入り危険になったため、移転しました。



以前の校門



現在の校門

移動させると置くだけで壊れてしまうため、しばらく元の位置からすぐの横の空き地にねかせておくことになりました。

これからどのように保存していくか検討することになりますが、いいアイデアをご提供していただけるならば大変有難いです。



ふるさと納税について

ふるさと納税が個人だけでなく、**企業(法人)**でもできます。

平佐東地区コミュニティ協議会と指名していただければ、優先的に平佐東地区の活性化に使うことができます。コロナが終焉し日常が戻り、親戚の集まりや同窓会等も活発に開かれるようになりました。そういう機会に話題のひとつとして出して、広く関係者(出身者)の方にふるさと納税を検討していただければ、地区の活性化につながるものと思われます。よろしくお願いします。

個人

企業

ふるさと納税

薩摩川内市

補助金交付

コミ協議会

地区の活性化
 少子高齢化対策
 鳥獣被害対策
 空き家対策
 災害対策
 夏祭り(イベント)補助

詳しくは薩摩川内市のホームページからもご覧いただけます。

第27回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

27 坂元(本)坊(吉野山)

今年の史跡巡り(2月9日実施)で最後に訪れる予定だった当地、時間がなく残念ながら今後に巡ることになった。地元の人はこの地を「ポー」とよぶ。小字名は「坂本」となっている。7回目を数える平佐東史跡巡りに、初めてこの地を入れたのは理由がありました。

一つは平佐東地区でも古い部類に入る古石塔(鎌倉期、南北朝期)があり、室町時代の『渋谷氏給地反町符帳』には「坂本坊一町六反」とあるので広い田畑を所有していた寺院と思われる。それ以外の資料が少なく、地区の人たちにはあまり知られていない。だから、未だに「坂本坊」の由来や全体像が伝わっていないのではないかな…?

しかしながら、現在お住まいのY家には古い系図があり、それにかかわる資料と墓石が存在する。『川内の古石塔』に掲載される。すなわち、Y備後守盛秀が天文20(=1551:室町時代)年に入道して盛秀法師と称し、当坊を相続して「権大僧都法印雲昌坊不動院」と号した。以後、歴代Y氏が坂元坊を継承したとある。9代盛竜の時「山伏職」を廃業し神職となる。入道とは出家することで、「備後守盛秀」とあるから武士の身分だったと思われる。寺院の名称が「坂本坊」から「雲昌坊不動院」になった。ゆえに、石塔の「不動明王像」(32cmの台座に立つ不動明王は140cm)と「俱利伽羅剣(くりからけん)」とがある。「くりからけん」とはクリカラ竜王の巻き付いた剣で不動明王の化身である。不動明王はものすごい形相(顔)をして右手に降魔の剣を持ち、左手にしぼる縄を持ち、背中に火炎を負っている姿が一般的でいっさいの障害と煩惱を降伏させると伝わる。9代目盛竜は山伏職を廃業して神職となり、Y家に隣接して鳥居があるが、それが霧島神社となったことがわかる…?

入来院6代目重門の末弟(6男)に「坂本坊」の名前が見られる。二人の兄である重門と牢山(4男:寿昌寺10世の住職)は、1372年に高江の峯城を攻めた際に共に戦死している。その6男が仏門に入った可能性は高いと私は想像しますが、皆さんはどうでしょうか?

文中の下線と太字は茶園のもの

右は坂元坊の不動明王、俱利伽羅剣を写生したものです。

茶園さんが執筆されているレキバナ講話の中に出てくる『川内の古石塔』という川内市史の中で紹介されています。

もちろん、土地の持ち主の方の了承をいただかなければ、立ち入ることはできませんが、実際、まだ、現存しているということを知っています。次回の史跡巡りウオーキングで訪問・見学できるように関係者一同で協議・検討したいと考えます。



1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

予約や利用の仕方など、詳しく聞きたい方は、コミセンまで連絡ください。



平佐東地区
コミュニティセン
ター

- 7月 9日(水) 民児協
- 17日(木) 第2回夏祭り実行委員会
- 20日(日) 参議院選挙予定
第2回道サポート
夏祭り横断幕・のぼり旗

☆ 7月慰霊碑掃除当番 ・・吉野山自治会